

【プロジェクトの概要】

本プロジェクトは、歴史的建造物や歴史遺構で活動していた人々を調査することを通じて、これらの歴史遺産に「物語」を付与し、観光客、投資家、映像・アート関係者への訴求力の向上と新たな観光資源の開発を目的とします。加えて、歴史的建造物や街並みの継続的な保全・活用に向け、財政基盤の確立とファンド形成を進めていくための基礎研究を行います。

【活動報告】

●まちなみツアー&コンテンツツーリズムに関するトークショーの実施

学生を伴い、市内の歴史的建造物の実態と観光ルートを検証する予備調査を実施しました。さらに、映像・アート関係者とともに歴史的な街並みや建物を見学するツアーとそれらの見せ方に関するトークショーを開催しました。

●まちづくりファンドに関する聞き取り調査

先進事例である「東京歴史まちづくりファンド」と「世田谷まちづくりファンド」を視察し、現状と課題について聞き取り調査を実施しました。

●小樽の歴史的な建物を紹介するパンフレットの作成

小樽市内の魅力ある歴史的な建物を紹介するパンフレットを作成しました。

【具体的な成果等】

ツアーやトークショーでは、学生、映像・アート関係者から見て小樽の歴史的な街並みや建物が持つ魅力を再認識すると同時に、「日常的な見学ができない」、「建物の継続的な保全が困難」という課題が明らかになりました。また、ファンド調査では、「継続的な資金確保と融資」という課題が明らかになりました。

今後、これらの課題を克服し、小樽の歴史的な街並み・建物を持続的に保全・活用していくためのしくみづくりを構築していく必要があります。その足がかりとして、写真、イラストをふんだんに盛り込んだ歴史的な建物の紹介パンフレットを作成することを通じて、市民や観光客など幅広い世代に建物にまつわる「物語」や現状を知ってもらう工夫を行いました。

